

活動概要

本研究では、既存の地域ストックである芦屋浜高層団地を具体的に活用し、再編していくことで、持続可能な多世代共助コミュニティを育成することにより、地域の「互助」や多層的な地域連携を醸成する支えあいシステムを構築することを目的としている。また、多世代共助システム構築に向けた実践的な調査・研究を多層的な地域連携体制で行うことで、従来の住政策だけでは抜本的な解決が図れない地域の「互助」や多層的な地域連携を醸成する支えあいシステムの新たな方途を考究することを究極の目的としている。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	芦屋浜ASTM団地再生プロジェクト
対象となる地域・企業等	兵庫県芦屋市
活動学生(ゼミ・学年等)	生活環境学科の学生（2年、3年）
連携時期	2016年～
学外への広報方法	HP、フェイスブック、学会投稿論文
連携内容	本研究では、高度成長期に建設された兵庫県芦屋市の芦屋浜高層住宅団地と戸建住宅地区を対象に、空き家や集会所・広場などの共有空間などの既存の地域ストックを具体的に活用し、再編していくこととするものである。現在、兵庫県住宅供給公社と住民団体、そして武庫川女子大学が連携して芦屋浜高層住宅団地の集会所・広場の再生・再編に向けた検討ワークショップの開催や具体的なデザイン検討を実施している。具体的な空間デザインの実践について、現在では利用率が顕著に減少している芦屋浜高層住宅団地の6箇所の集会所とそれに付随する公共広場を再編することで、各集会所の個性を發揮しながら高齢者や子育て世代、若年層（大学生）、子供たちが多世代共助できる場としての空間デザインを提示する予定である。
成果	集会所・広場の具体的な再生・再編のための空間デザイン 多世代が相互に関わることができるコミュニティ・デザイン

研究者・研究グループからの「ひとこと」

社会問題になっている高経年の高層住宅団地の再生・再編を、住民・兵庫県住宅供給公社、そして武庫川女子大学が協働で行っている実践的なプロジェクトである。学生も含めた協働チームでワークショップを行いながら、具体的な検討を進めて来た。このような実践的研究で得たノウハウを今後、デザイン教育や実践研究に応用していきたいと考えている。

活動内容PR(活動の様子・参加者の声等)

高度成長期に建設された兵庫県芦屋市の芦屋浜高層住宅団地の再生・再編の具体的な空間デザインやコミュニティデザインを住民、兵庫県住宅供給公社、武庫川女子大学の産学連携で行っています。現在、現在では利用率が顕著に減少している芦屋浜高層住宅団地の6箇所の集会所とそれに付随する公共広場の再生・再編を目的とした検討ワークショップを実施し、今年度中には1つの具体的なモデルを示す予定。学生を中心に空間やコミュニティのデザイン案の検討に奮闘中である。

